

H20

大気汚染防止推進月間



ECO DRIVE CONTEST

エコドライブコンテスト



エコドライブ実践事例集

- P1 平成20年度大気汚染防止推進月間
エコドライブコンテスト 表彰式
- P3 平成20年度 実施概要
- P7 平成20年度 審査内容・結果
- P9 平成20年度表彰企業の取り組み事例紹介

●環境大臣賞

静岡県浜松市 **株式会社ダイコー商運**

●理事長賞

新潟県上越市 **上越運送株式会社 上越支店**
 岡山県倉敷市 **藤森運輸株式会社 倉敷営業所**

●優秀賞

北海道釧路市 **栄光運輸株式会社**
 岩手県盛岡市 **NTT東日本 岩手支店グループ**

(表彰順・都道府県順)

P15 **特集記事** エコドライブ活動トップランナー
 平成19年度環境大臣賞受賞企業
九州菱化物流株式会社

P19 エコドライブ活動の効果とポイント

P21 エコドライブのすすめ

大気汚染防止推進月間「表彰」



みんなで取り組もうエコドライブ活動

チーム・マイナス6%

独立行政法人 環境再生保全機構

今後のエコドライブ活動推進に向けて・・・

平成20年度エコドライブコンテストに多数のご応募を頂き、誠にありがとうございました。

■すでにエコドライブ活動に取り組まれている企業の皆様へ

エコドライブ活動においては何よりも継続が重要です。自社の活動を見直す節目として本コンテストをご活用頂き、より効果的な活動へ発展されることを、願っております。

■これからエコドライブ活動に取り組まれる企業の皆様へ

本コンテストでは、「エコドライブ活動をはじめよう!」という企業を積極的にサポートしております。様々なエコドライブ支援ツールを、是非ご活用ください。

来年度のエコドライブコンテストにもご参加頂きます様、何卒よろしくお願い申し上げます。

独立行政法人
環境再生保全機構

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー





最優秀賞

環境大臣賞

株式会社ダイコー商運
代表取締役 平田正文氏

当社は平成13年からエコドライブ活動をしておりました。その活動が認められ、非常に光栄に思います。ちなみに受賞のことはドライバー全員が知っていますが、今回の環境大臣賞受賞をキッカケに、ドライバー同士が声を掛け合うなど、エコドライブに関する意識がさらに高まっています。

今現在はドライバーが中心となり「タイヤを使ったエコドライブ」について、さらに研究を重ねております。これからもどんどん新しいことに挑戦をしていきたいです。



「大気汚染防止推進月間」表彰式



大気汚染防止推進月間
平成20年度
表彰式

優秀賞



NTT東日本
岩手支店長 田辺博氏

優秀賞を頂けたのは、ひとえに社員が真面目に取り組んだ成果であり、非常にうれしく思います。今回の審査結果を踏まえて良い点・悪い点を分析し、よりエコドライブ活動に取り組んでいきます。岩手支店が他の支店の参考となり、全社的にエコドライブを普及していきよう推進していきます。



栄光運輸株式会社
代表取締役 森井博氏

受賞できたことを非常にうれしく思います。当社は昭和55年から独自の活動に取り組んできました。環境問題が騒がれている今、当社の活動はエコドライブと言われるようになりましたが、やっていることは今も昔も変わりません。少しずつでも努力を積み重ねていければと考えています。

理事長賞



藤森運輸株式会社
専務取締役 藤森津富氏

理事長賞を賜ることができ、会長・社長はもとより社員一同、光栄に存じております。「地域に貢献できる企業」作りを目指した結果が、今回の栄えある受賞に結びついたと感じております。今後も継続的に活動を進め、賞に恥じない企業としてより一層精進していきます。



上越運送株式会社
代表取締役社長 古海正雄氏

今までの努力が認められて、うれしく思います。今後の励みに致します。なお、この受賞については(社長自ら)社員一人ひとりに手紙を書いて知らせました。エコドライブ活動を始めて5年目になりましたが、今後も環境マネジメントに力を入れ、さらなるレベルアップを目指します。

2008 12月1日 虎ノ門パストラルホテルにて
(東京都港区)





エコドライブコンテストとは

環境省・(独)環境再生保全機構・全国自治体が一体となって実施している企業・法人対象のエコドライブ活動コンテストです。

POINT 1 全国規模のエコドライブ活動・普及推進プロジェクト!

当コンテストは、エコドライブ活動を全国に広げることで大気汚染防止を推進することが目的です。積極的にエコドライブ活動に取り組む企業・法人に多数ご参加いただいております。

POINT 2 全国の自治体(都道府県/政令指定都市)と連携!

当コンテストでは、日本全国の自治体と連携して開催しております。募集告知はもちろん、エコドライブセミナーの開催や自治体独自表彰などを実施しております。

POINT 3 全国どこからでも業種業態を問わずに参加が可能!

日本国内において車両を保有する企業・法人であれば、業種業態に関わりなく、ご参加いただいております。車種や車両台数なども一切問いません。

POINT 4 エコドライブ活動の取り組みレベルに合わせた無理のない参加!

エコドライブアンケートにご協力いただくと参加企業として登録されますが、コンテスト審査応募は任意です。各企業の取り組みレベルに合わせて参加できます。

POINT 5 エコドライブ活動の推進に向けた、各種無料サポート!

エコドライブステッカーやコンテストロゴマークなどのエコドライブ活動推進につながるツールを無料でご提供しております。本冊子(エコドライブ実践事例集)もその1つです。

企業・法人が主体となって取り組む「エコドライブ活動」とは?

エコドライブ活動とは、**エコドライブに取り組みやすい職場環境を作り、継続的に実践していく活動**です。

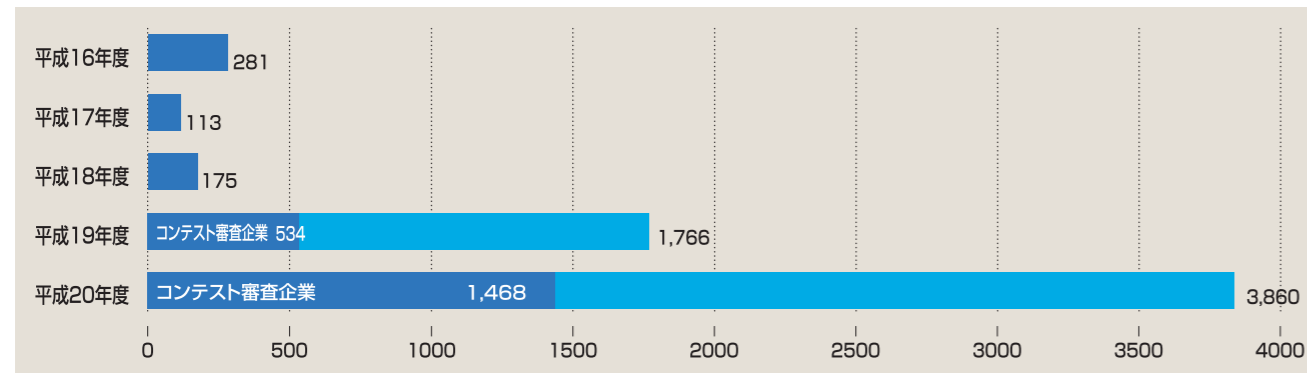
具体的には、燃費管理・車両管理の仕組み作りやエコドライブに関する教育活動の実施などがあげられます。エコドライブ活動を継続的に実践することが、大気汚染防止・交通事故防止・燃費向上といったエコドライブの効果につながります。

実施体制について

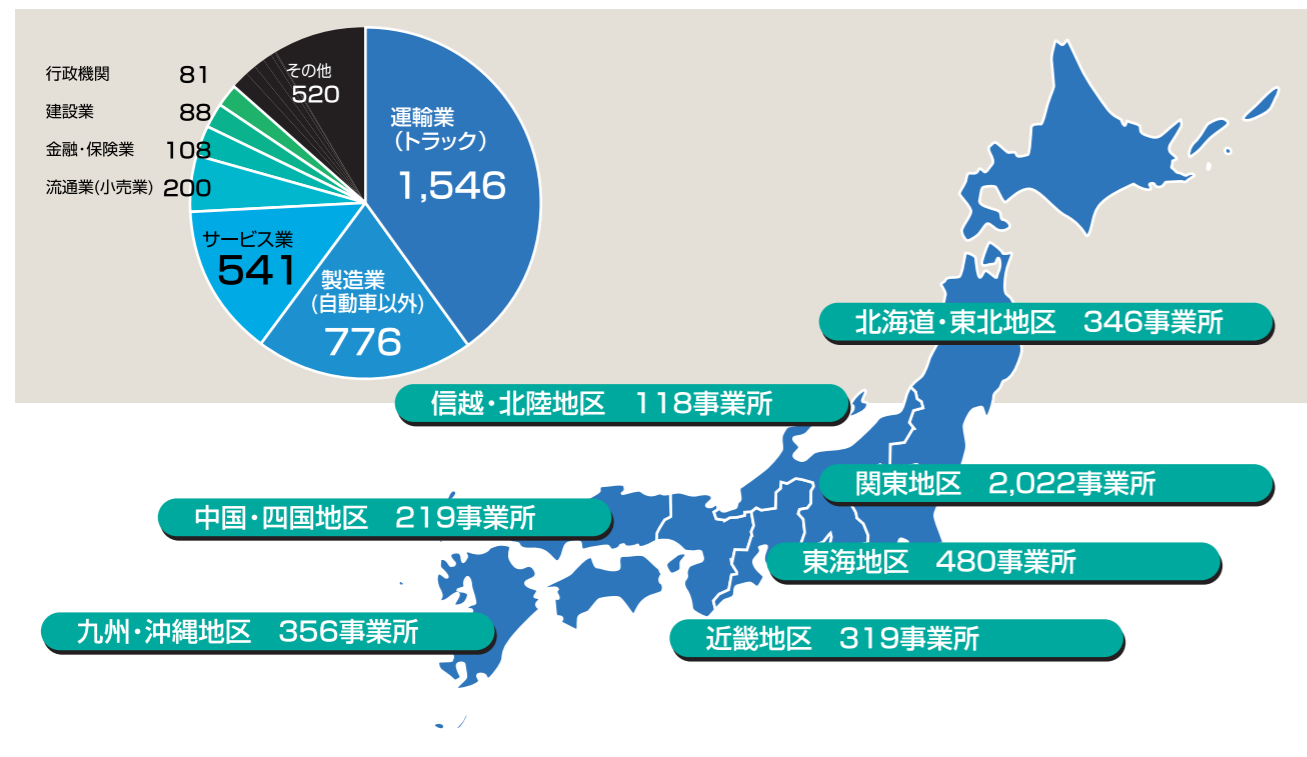
- 主 催:環境省・独立行政法人環境再生保全機構
 - 後 援:(社)全日本トラック協会・(社)日本自動車工業会・(社)日本自動車販売協会連合会・(社)日本自動車連盟・(社)日本ロジスティクスシステム協会
 - 募集エリア:全国47都道府県
 - 協力自治体:北海道・**札幌市**・青森県・岩手県・宮城県・仙台市・秋田県・山形県・福島県・茨城県・栃木県・**群馬県**・**埼玉県**・さいたま市・千葉県・千葉市・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・新潟県・新潟市・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・浜松市・愛知県・**名古屋市**・三重県・滋賀県・京都府・**大阪府**・大阪市・堺市・兵庫県・神戸市・奈良県・和歌山県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・広島市・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・**北九州市**・佐賀県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県
- ※赤字は平成20年度モデル自治体(6自治体)

今年度の参加規模について

●参加企業推移



●参加企業数(3,860事業所内訳)



コンテストホームページご利用のススメ

■ 取り組みをサポートするコンテストホームページ



●コンテストがよく分かるアニメーション解説

●これまでの受賞企業や活動内容等を掲載

■登録企業だけの特典!活動をサポートする窓口「マイページ」



●全国の自治体が発信するエコドライブ関連情報を掲載

■ 登録企業を支援する様々なツール (平成20年度は全て無料にて実施)

① エコドライブステッカーやロゴマークの入手
活動意識を高めるのに役立つツールとしてコンテストのロゴマークやエコドライブステッカーを入手することができます。

② 結果のフィードバック
企業ごとのマイページから審査結果はもちろん、CO₂削減量などのフィードバックデータが確認できます。(審査応募企業のみ)

③ エコドライブ活動の情報誌
「エコドライブ実践事例集」(本誌)を全てのエコドライブコンテスト参加企業に送付します。

●エコドライブステッカー



●コンテストロゴマーク



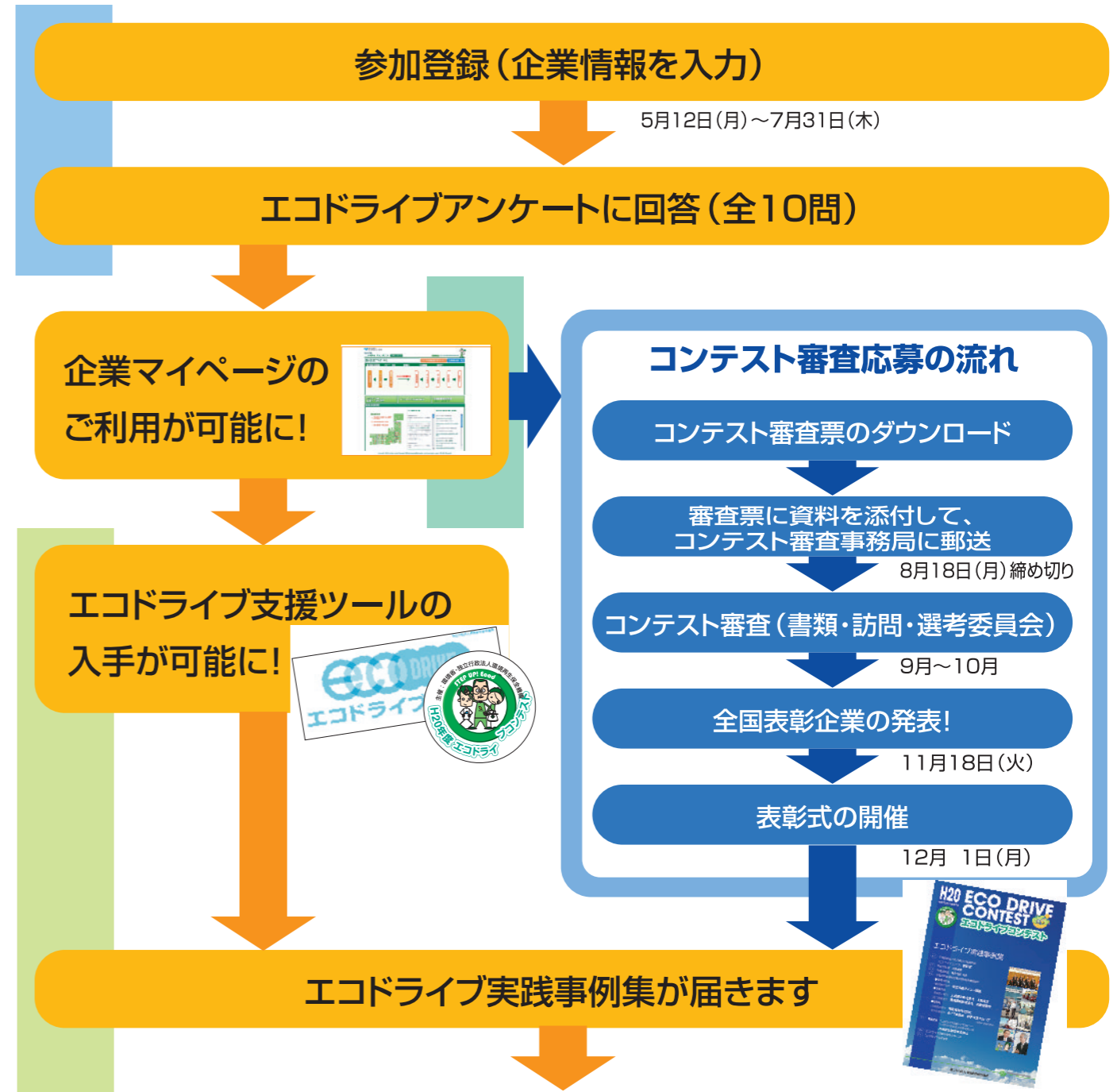
●フィードバック情報

エコドライブコンテストの参加で

自社の取り組み状況に合わせて、エコドライブ活動のステップアップが可能です。アンケート協力・コンテスト審査応募・ホームページ・支援ツールなど、各種の取り組みメニューを全て無料で活用することが出来ます。



エコドライブコンテストの主な流れ



エコドライブ活動のステップアップへ!!!



エコドライブコンテストの審査

6つの審査内容について全40項目の審査をいたします。それぞれの企業の状況にあった取り組みがなされているかが、審査する上での重要なポイントとなります。

審査1. 社内体制

- エコドライブ活動の方針・目的・目標などを設定している
- 定めた方針や計画を従業員に周知している
- エコドライブ活動推進組織の役割を明確にしているなど

審査2. 燃費データ管理

- 燃費データ管理のルールを定めている
- 燃費の目標数値を設定している
- 燃費データの開示(フィードバック)をしているなど

審査3. 従業員教育

- エコドライブに関する教育計画やルールがある
- 教育記録や活用した資料を保管している
- 受講者の意見や感想などを記録しているなど

審査4. エコドライブ活動の成果

- エコドライブ活動前と比較して、燃費が向上している
- 効果測定のルールや基準を定めている
- CO₂削減量、といった効果測定を定期的に行っているなど

審査5. 評価の実施

- 活動実態を把握する仕組みやルールがある
- エコドライブに熱心に取り組む従業員を評価する制度がある
- エコドライブ活動の評価は適正に行われているなど

審査6. 活動の継続性

- 設定した活動目標を達成している
- 創意工夫を凝らした、独自の活動を行っている
- すでに継続的に活動ができているなど

● 審査の流れ ●

1 1次審査(書類選考)

提出頂いたコンテスト審査票をもとに、書類審査を行います。書類審査は添付資料を中心に確認しています。

2 2次審査(訪問審査)

1次審査点数上位の事業者に対し、訪問の上、実際の取り組み状況の確認とヒアリングを行っています。

3 最終選考委員会

1次審査および2次審査の結果を踏まえ、選考委員による最終選考を行います。平成20年度は10月30日(木)に開催されました。

審査結果の発表

【審査結果】

■ 環境大臣賞

株式会社ダイコー商運



■ 理事長賞

上越運送株式会社
上越支店

藤森運輸株式会社
倉敷営業所

■ 優秀賞

栄光運輸株式会社

NTT東日本
岩手支店グループ

■ 入賞 (都道府県順)

株式会社北海道エアメール 営業部 本社

丸吉運輸機工株式会社 本社事業所

三愛ロジスティクス株式会社 東北物流課

磐城通運株式会社 小名浜支店

磐城通運株式会社 小名浜支店

磐城通運株式会社 湯本支店

株式会社マエトラ 本社営業所

株式会社アドバンテイク・レヒューズ 業務部

株式会社入船物流システム 本社営業所

中越運送株式会社 東京支社

磯村運輸有限公司 本社営業所

佐川急便株式会社 文京店

中央エース物流株式会社 厚本営業所

上越運送株式会社 柏崎支店

新潟運輸株式会社 柏崎支店

上越運送株式会社 長岡支店

新潟鉄道荷物株式会社 新潟中央営業所

山口郵便通運株式会社 業務センター

城西物流倉庫株式会社 金沢営業所

株式会社マツイ 輸送部

日本ハム株式会社 日本ハム中部圏営業グループ

大阪星友運輸株式会社 本社営業所

扇町運送株式会社 本社営業所

株式会社フジライン 本社営業所

株式会社コープムービング 魚崎営業所

株式会社新宮運送 本社営業所

ハウス物流サービス株式会社 奈良営業所

コカ・コーラウエストロジスティクス株式会社 九州支店

■ 優良活動賞 (都道府県順)

松岡通運株式会社 札幌主管支店

ニッコーファインソック株式会社 本社

岩手東邦運輸倉庫株式会社 車輦営業部

株式会社ロジバルエクスプレス 仙台営業所

東日本上野輸送株式会社 小名浜事業所

株式会社北海道興業 福島営業所

茨城流通サービス株式会社 本社営業所

川崎運送株式会社 武蔵村山営業所

佐川急便株式会社 川崎店

中央エース物流株式会社 東扇島第一低温営業所

上越運送株式会社 新潟支店

株式会社中越エクスプレス 美咲町営業所

上越運送株式会社 長野支店

株式会社ロジバルエクスプレス 名古屋営業所

*優良活動賞授与企業は、残念ながら入賞には及ばなかったものの、非常に優れたエコドライブ活動を実施していることを認められた企業です。

環境大臣賞受賞



エコドライブ
活動実績 **7年**

**静岡県
浜松市**

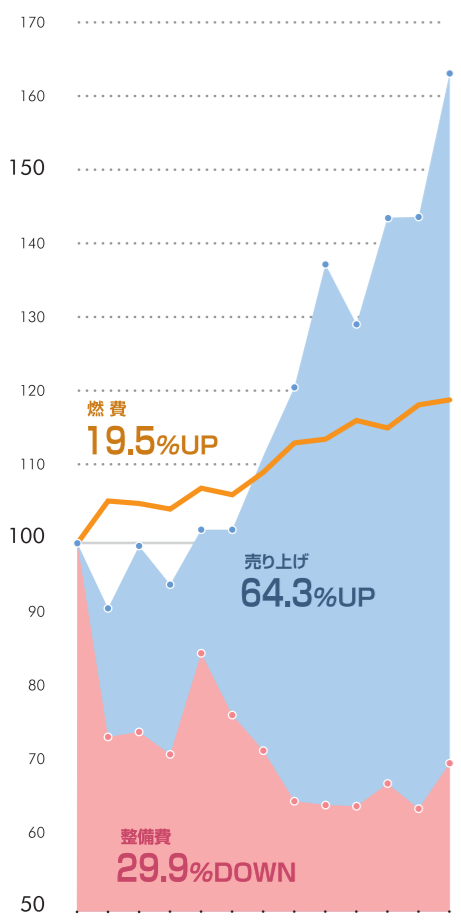
株式会社ダイコー商運

■企業プロフィール
 本社所在地:静岡県浜松市東区白鳥町308
 業務内容:貨物自動車運送事業(商品車輸送)
 従業員数:90名/車両台数:72台

数字の裏づけが取り組みの優秀さを実証! きめ細かな目標設定と確かな 評価制度を中心とした最優秀活動



エコドライブ実績推移 活動開始時期を100とする



活動状況(事務局所感)
 平成19年度に優秀賞を受賞している同社。特に従業員への評価制度が優れている。評価の根拠となる目標燃費の設定基準を半年に1回見直すなど、従業員が納得できる評価方法を模索し続けていた。
 また、他社にあまり見られないものとして、ドライバーだけでなく、管理者も評価される仕組みが存在した。これはドライバーがもたらすエコドライブの成果に応じて管理者にも報奨金が分配される制度である。こういった報奨制度は従業員とのコミュニケーションの結果、生まれた制度とのことである。
 従業員教育にも力を入れていた。本社・神奈川・名古屋の3営業所のドライバーが本社に一堂に会することは不可能であるため、社長自ら毎月各営業所を訪問して、班ごとのミー



ティングを実施していた。
 なお、エコドライブ活動による成果も明確であった。活動開始から7年間で、売上高64.3%向上、燃費19.5%向上、整備費29.9%削減などを達成。これらを含め、これまでのエコドライブ活動の経過を全て記録しており、数字の裏づけの確かなエコドライブ活動を推進していた。(左表参照)



■エコドライブ活動記録
 評価結果も含め全ての活動を記録し、誰でも閲覧可能な状態にしている



■平成19年度優秀賞
 優秀賞賞状とともに、各種認定証(Gマーク・グリーン経営)を店頭に掲示

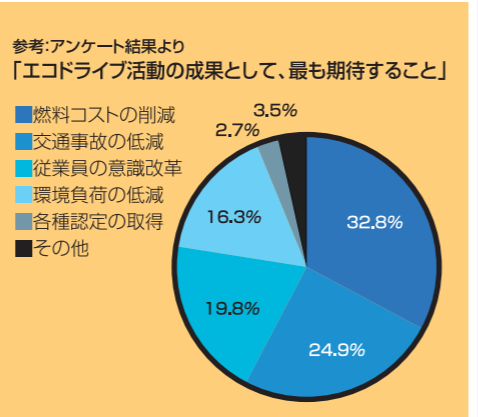


■グループミーティング
 班ごとに開催される会議には社長自ら参加し、現場の意見に耳を傾けている

特に評価されたポイント

- 社内体制
- 燃費データ
- 教育
- 活動の成果
- 評価の実施
- 継続性

「従業員が心から納得できる評価制度を作りたい」という思いから、従業員がエコドライブ活動に邁進できる体制を作り上げた同社。社長自らが積極的に動き、従業員の意見を汲み上げて作った評価制度は優れたトップダウンの事例といえよう。
 コンテスト参加企業全体では「燃料コストの削減」をエコドライブ活動に期待する企業が32.8%と最も多かったが、同社では燃費向上はもちろんのこと、売上高64.3%向上という成果まで確認された。エコドライブ活動が「減らす」だけでなく「増やす」ことも可能であることを実証した。旧来の枠にとらわれず、エコドライブ活動によって経営改善まで成し遂げたことが、特に評価されたポイントであった。



藤森運輸株式会社 倉敷営業所

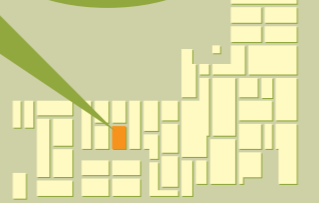
■企業プロフィール

所在地:岡山県倉敷市船穂町船穂843-1
 業務内容:貨物自動車運送事業・倉庫業
 従業員数:80名/車両台数:40台

エコドライブ
活動実績 **4年**



岡山県
倉敷市



上越運送株式会社 上越支店

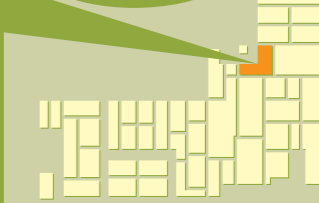
■企業プロフィール

所在地:新潟県上越市頸城区西福島440-1
 業務内容:貨物自動車運送事業
 従業員数:89名/車両台数:86台

エコドライブ
活動実績 **5年**



新潟県
上越市



盛り上がる会議!工夫を重ねた従業員教育が成果に直結



活動状況(事務局所感)
 藤森運輸株式会社倉敷営業所のエコドライブ活動の特徴は、考えられたエコドライブ教育に尽きる。
 ポイントは、全従業員参加で毎月第2土曜日に開催されている営業所会議である。この会議は単なる情報伝達ではなく、パワーポイントの活用はもちろん、班単位のフリーディスカッションや議事内容のペーパーテストの実施など、毎回工夫を凝らして開催されていた。さらには、管理者が作成した燃費データとドライバーが日々記入している燃費データを、会議内で一人ひとりつげあわせをするという、大変ユニークな活動が行われていた。
 その他にも省エネ運転講習会や整備点検講習会なども積極的に催されており、全社挙げての教育を重視する社風が感じられた。



■トラック協会での発表

協会事業にも積極的に協力し、自社の取り組みを発表している



■全員参加の営業所会議

班ごとのディスカッションなどで、活発な議論が展開されている



■省エネ運転講習会

外部講師の協力の下、エコドライブ教育を主体的に企画している

特に評価されたポイント

- 社内体制
- 燃費データ
- 教育
- 活動の成果
- 評価の実施
- 継続性

アンケート結果を見る限り、エコドライブに特化した教育は必ずしも行われていない現状の中、特に積極的に教育を実施していたのが同社である。参加型の会議運営や外部の活用など、その教育企画力の高さが評価された。

参考:アンケート結果より「実施しているエコドライブ教育(複数回答)」

社内で専任された教育担当者がエコドライブの教育にあたっている	46.7%
外部が主催する省エネ運転講習に参加している(実技講習)	24.7%
外部が主催するエコドライブに関する勉強会・セミナーに参加している(座学講習)	22.5%
外部から講師を招き、エコドライブ教育の指導を仰いでいる	14.5%
その他	7.8%
エコドライブに特化した教育はこれまで行っていない	30.0%

高い活動意識!乗務員と一緒に作り上げてきたエコドライブ



活動状況(事務局所感)
 本社安全指導部の齊藤氏が牽引してきたエコドライブ活動。
 齊藤氏がドライバー職だった頃に「エコドライブで会社を改善しよう」と提案したことで会社が動き出した。それ以来、乗務員の立場を尊重しながら活動を展開。そのため全社組織である環境保全委員会には、いわゆる経営層だけでなく、運転手も委員として支店から選出されていた。この委員会の活動として内部監査が行われていた。これは支店相互に切磋琢磨する仕組みとして、グリーン経営取得以来続けられている。
 アイドリングストップを推進するため、運転席に小型の扇風機や網戸を取り付けていたが、これらは全て運転手からの提案を会社が採用した結果であった。



車内に小型扇風機を設置

運転手の負担を極力抑えながらのアイドリングストップを推進中



環境委員会(支店分科会)

経営者だけでなく運転手も参画する仕組みが全社的に構築されている



エコドライブ個人指導

終業点呼時に日々エコドライブ指導・燃費チェックを実施している

特に評価されたポイント

- 社内体制
- 燃費データ
- 教育
- 活動の成果
- 評価の実施
- 継続性

「個人別に燃費結果を通知している」手法は、アンケート結果を見る限り、あまり取り入れられていない(26.2%)ようであったが、同社ではその推進により確実に成果を出してきた。「個」を大切にしながら活動を続けてきた点が高く評価された。

参考:アンケート結果より「燃費データの活用方法(複数回答)」

燃費結果一覧を毎月掲示している	40.6%
教育資料として活用している	40.3%
評価基準として活用している	32.7%
従業員に個人の燃費結果を毎月通知している	26.2%
その他	5.9%
燃費データの活用はこれまで行ってこなかった	26.3%

NTT東日本 岩手支店グループ

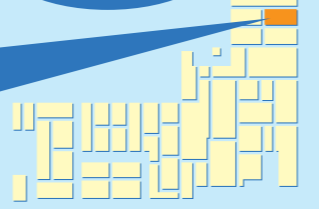
■企業プロフィール

所在地:岩手県盛岡市中央通1-2-2
業務内容:電気通信事業
従業員数:1,129名/車両台数:315台

エコドライブ活動実績 **2年**



岩手県
盛岡市



栄光運輸株式会社

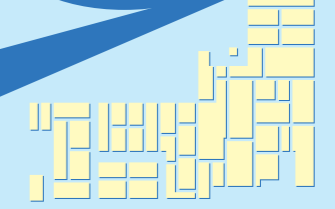
■企業プロフィール

所在地:北海道釧路市寿2-7-3
業務内容:貨物自動車運送事業
従業員数:33名/車両台数:33台

エコドライブ活動実績 **30年**



北海道
釧路市



県内全域をカバーした環境対策が大きな成果に



活動状況(事務局所感)
県内5つの事業所で活動しているNTT東日本岩手支店グループ。燃費データの収集は、車両リース会社の協力を得て「運転月報のOCR読み取り」という比較的珍しい手法で構築していた。また燃費グラフを季節ごとで作成するなど、グループに適した手法で実施していた。その燃費データは5年間ほど収集するも、当初3年間ではあまり燃費向上が見られなかった。そこで平成19年度から、本格的なエコドライブ教育を全拠点・全従業員を対象に実施した。成果は顕著に顕れ、5年前と比較して9%の燃費向上を記録するに至った。ISO推進チームが中心の活動は、現場でのエコドライブ実践へ着実に浸透し始めている。



■現場でのエコドライブ教育

県内全域で各拠点を中心に講習会を実施し、エコドライブが浸透した



■いわて地球環境にやさしい事業所認定

岩手県が推進するCO₂削減施策にも積極的に参加している



■不要な荷物を積まない活動

燃費向上に直結する具体的な取り組みを、全車両で実施している

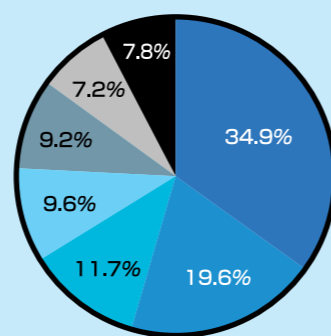
特に評価されたポイント

- 社内体制
- 燃費データ
- 教育
- 活動の成果
- 評価の実施
- 継続性

全体アンケートでは「従業員の意識が変わらない」という課題を抱えている企業が多い(34.9%)という結果であったが、同社ではエコドライブ教育後にアンケートを実施し、受講者の意識調査に取り組んでいた。従業員意識に配慮して推進する姿勢が特に評価された。

参考:アンケート結果より「エコドライブ推進上の課題」

- 従業員の意識がなかなか変わらない
- エコドライブの効果が把握できない
- 周囲の理解が得られない
- 運転テクニックが分からない
- デメリットの発生を懸念
- 推進するリーダーがいない
- その他



エンジン回転数に着目した長年の省燃費運転活動



活動状況(事務局所感)
なんとエコドライブ活動を始めて30年目。オイルショックを契機に省燃費運転活動を開始したとのこと。特に「エンジン回転数の抑制を重点的に実施」してきた会社である。デジタルコは使用せずに、レボタコにてエンジン回転数管理を行い、ドライバーが運転日報に記入していた。活動目標として、燃費だけではなく1キロメートルあたりのエンジン回転数上限をも設定していた。教育上のポイントとして7年ほど前から運用していたのが「ドライバーハンドブック」。これを全ドライバーが携帯していた。安全作業のマニュアルをベースに多種多様な教育資料が綴られており、時代の変化とともに中身を刷新しながら活用していた。



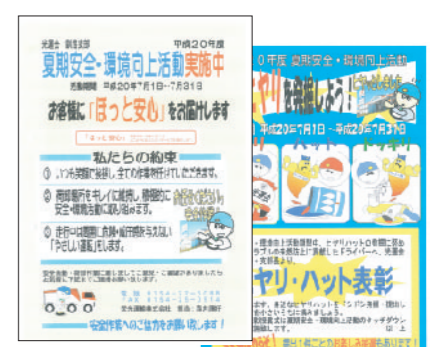
■ドライバー・ハンドブック

全てのドライバーが携帯し、いつでも学習できる環境を作っている



■エンジン回転数への意識付け

個々の運転結果からエンジンの回転数についてもフィードバックを行っている



■教育資料への工夫

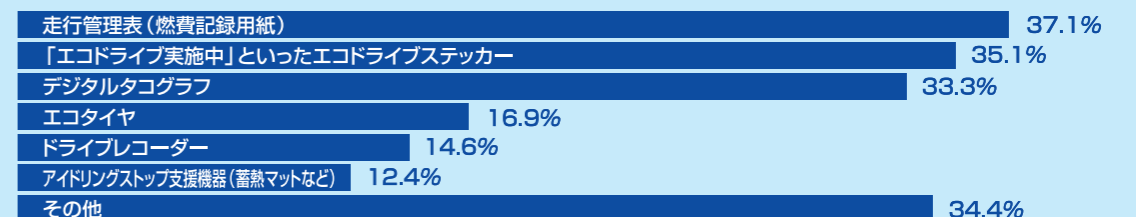
独自のキャラクターを作る等、工夫を凝らした教育資料を自主製作している

特に評価されたポイント

- 社内体制
- 燃費データ
- 教育
- 活動の成果
- 評価の実施
- 継続性

何らかのエコドライブ推進機器・ツールを取り入れている企業が多い中、あまりハードに頼らずに活動を続けてきたのが同社である。手作りの教育ツールはオリジナリティに優れており、時代の変化への適応力の高さも評価された点だった。

参考:アンケート結果より「導入している機器・ツールについて(複数回答)」



平成19年度環境大臣賞受賞企業

九州菱化物流株式会社



「交通事故をなくしたい！」
その思いで始めた
エコドライブ活動

司会 それでは、座談会をスタートさせていたきたいと思います。まず、会社の案内を穂坂部長からお願いいたします。

穂坂 弊社は三菱化学化学物流株式会社100%出資の子会社でございます。本社は、北九州市八幡西区にあります。主たる業務は長距離輸送、タンクローリー、自動車部品の輸送ですが、海上コンテナ、産業廃棄物等も行っております。台数は、車両台数が96台、従業員が、私以下95名で構成しております。

司会 なるほど。では、エコドライブ活動を始めたきっかけはどのあたりだったのでしょうか？

穂坂 残念ながら、交通事故が6件前後、平成6年までは毎年ありました。内容は、追突事故が多かったですね。何とか交通事故をなくしたいと悩んでおりまして、

対談



営業部 陸連グループ 部長
穂坂 昌男氏



エコドライブコンテスト選考委員長
大聖泰弘氏

運転手の協力なくして
エコドライブ活動は
できません

司会 では、エコドライブ活動当初の取り組み内容を教えてください。

穂坂 実は私にはドライバー経験はありません。そこで1ヶ月間ドライバーで「エコドライブとはどんなものか」自ら体験したんです。私の感想は、まず、これは相当難易度の高い運転であるなど、それと、ストレスが随分たまると。ただ、このエコドライブをやると「絶対に交通事故は半減する」と確信しました。それから、運転手と毎日のように個人面談です。運転手の協力がなければ、エコドライブ活動はできませんから。目的は安全運転ということを運転手さんに認識してもらったこと。これが第一でした。

司会 反発みたいなものはなかったのですか？

穂坂 それは当然ありました。皆、自分の運転は100点満点と思っていますから。そんな運転なんかできるわけない。しかし、家族を守るにはどうしたらいいのかということを話し合いました。浸透するには7、8年の時間がかかりましたけど、我々の思いを全員が受け入れてくれたということに感謝しているわけです。

司会 個別に面談されていたのですね。全員が理解するまでお話をされた、ということがポイントですか？

穂坂 そのです。運転手それぞれが受け入れてくれたということが一番大事だと思います。面談が30分でも運転手もいますし、中には2回も3回も3時間も4時間もかけるという運転手もいます。「家族から安心してもらえる会社を作りたい」というのが大前提ですよ。

司会 思いが伝わった、ということですね。

教育は実践で！
エコドライブと普通の運転では、
到着時間はどれだけ違うのか？

司会 エコドライブの教育ですが、具体的にどのように進められてきたのですか？

よっか？

穂坂 エコドライブ教育は黒板で書いて、とかではありません。うちの教育は体験が主流です。スクラップ車に追突させます。体験させることで変わります。10キロで衝突する、10キロで追突する、いかにシートベルトが大事かということがわかりますよ。それを体験するんです。そうすると、「目停止がいかに大事か、徐行がいかに大事か、を理解してくれます。」

大聖 追突の実験をされた、ということですけど、交通事故の3分の1は追突です。もう3分の1が出会い頭の事故です。ですから一時停止でしっかり止まるといことが大事ですね。この追突と出会い頭の事故を防げれば、交通事故の3分の2を防ぐことが可能です。それがまた、燃費のいい運転につながっていくわけですね。

司会 エコドライブと普通の運転とで、どれくらい到着時間が違うかを検証されたとお聞きしましたが、

穂坂 平成9年に実施しました。北九州市から大分県の工場地帯まで「コンテナ輸送の業務がありまして、ここを朝5時半に出発しました。1人の運転手にはエコドライブをやってくれと、もう1人の運転手には普通の運転をやってくれ、と言いました。走行距離は170〜180キロありますが、到着時間はどれくらい違うかと思われませんか？

司会 どれくらいですか？



寿司屋さんも エコドライブ活動で活躍！ グループ活動が活発に！

司会 どちらかで特徴的なのはグループ活動ですね。

穂坂 そうです。九十数名の運転手を7班に分けています。班長には、体験でのエコドライブ教育を行いました。それからは管理者が教えるのではなく、班長が班員に教育してもらいました。また、班員の悩みとか相談とは、班長を通じて管理者側に伝えてもらいました。ここから活動が活性化したことは事実です。

大聖 なるほど。その班というのは、それぞれ10名くらいですかね。

司会 ちょうどいい規模な感じでしょね。



穂坂 面白いことに、運転手と面談をやった結果、いろいろな特技を持って

いることもわかりました。前職が営業職の人も寿司屋さんもなんでも屋もいました。そういう人たちが、班の中でみんな責任や役割がついたんですよ。前職が整備工・塗装業・板金工の班員が中心となって、車両のメンテナンスを運転手が自ら行うようになりました。全車両をドライバーが把握するというんですね。その記録を車両自主管理表というファイルに残す。燃費から修繕費から全部把握をするんです。

大聖 そうですか。よく日本の企業活動の強みというのが言われるんですけど、やっぱり現場力ですね。現場が一生懸命になり、チームワークでこれだけまとまり良く協力してやるか、これがパワーですね。



神輿をかついでいない人が 変われば会社が変わる

穂坂 それでも意識改革にはちょっと苦労しました。「20・6・2の法則」というのがあると思います。10人で神輿をかつ

全運転、マイカーでも安全運転、ということですね。それと全員のモチベーションがアップしていることも確かです。

大聖 それも成果の一つですよ。そういう実態を踏まえてエコドライブのいろんな成果をどんどん伝えて頂きたいと思います。それがエコドライブ活動を広げていく一つの中心的な役割となっていけば、大臣賞受賞の意義がさらに大きく広がる気がいたします。

これから エコドライブ活動は より一層重要に

司会 大聖先生、エコドライブ活動の普及とその意義についてお聞かせ願えますでしょうか？

大聖 エコドライブ活動の成功経験を伝えて、皆さんに理解して頂ければ広まってくるかと期待しています。今、日本を出て

いるCO₂の約20%は車からですが、その中の40%が物流関係からです。それを抑制することは、日本全体のCO₂対策として大きな意味があります。なお自動車メーカーには、2015年までに約12%の平均燃費改善を求めています。しかしエコドライブで10%くらい燃費が良くなるわけですから、10年かけて技術開発をする燃費改善と同等の効果があるんですね。

司会 なるほど。では穂坂部長から、エコドライブ活動のポイントを全国の事業者さんにアドバイスをお願いします。

穂坂 私はアドバイスなんてとても。ただ私は本気になってドライバーと、しかも直球を投げて直球で返してもらいたいと思います。これを管理者ができたなら、運転手が5名でも100名でも300名でも、私はできると思います。本気になってドライバーと直球を投げ合つての議論ならけんかをしてほしいんです。それは最終的には、本人を守る、家庭

ぐとき、2人は一生懸命かかっています。6人はとりあえずかかっている状態。問題は、後の2人ですよ。神輿にぶら下がっている人間です。彼らとのコミュニケーションに随分時間をかけました。この2名がやっと変わってくれたのが大きかったです。

司会 どうしたら変わったんですか？

穂坂 朝会社に来ると、運行管理者に文句を言っているんですよ。昨日寝てないとか、昨日は手積みをお願いしたから今日は楽な仕事をさせてくれとか。そこで、その運転手さんと会議室で面談をやったんです。聞くと家に帰ってないんですよ。その運転手さんと会談がうまくいってないんです。もう別居状態ですね。それで私が「じゃあ、お前、奥さんの実家に行つたことあるか？」と聞いたら、「盆正月しかない」と。そこで私は「それじゃ、ときどき奥さんの実家に行つてやれよ」と言いました。何が言いたかったかと言つと、相手の両親を大事にしてやれば絶対夫婦は円満になる、ということですね。それからですね、半年一年くらいしたらこの運転手はガラッと変わってきました。

司会 なるほど。そういう親身なコミュニケーションがポイントですね。

穂坂 好きで私は神輿にぶら下がっている訳ではないと思います。この世界でも、1〜2人は会社の方針に沿わない人がある。不満を言っているだけです。不満を持つこと自体は悪いことではありませんので、まずは聞いてあげるようにして

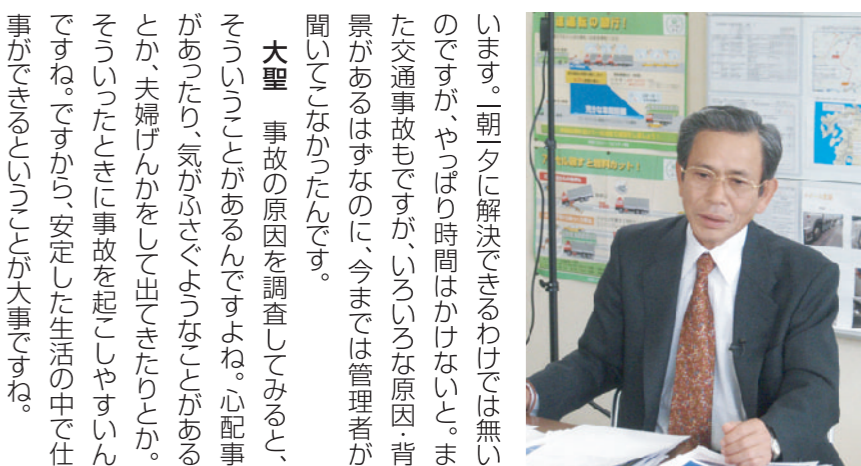
を守る、家族を守る、ということが前提。安心できる職場を作りたいという思いがあれば、運転手は絶対わかってくれると思います。

大聖 それは労使の一体化でございますね。あるいは、上に立つ方と実際にハンドルを握られる方との一体感ですかね。チームワークと言つてもいいんじゃないかな、それが大事ですね。



穂坂 はい。それと運転手一人一人に達成感を味わわせないとけないと思います。やったよーっていうんですよ。

大聖 本当に地道な努力と、その結果、努力した人がそれぞれ達成感を得られるような、そういう活動って非常に大事だと思います。それを全国に広げたいわけですよ。そこから上がってくるデータを集約して「エコドライブで日本はこれだけ頑張れる」ということを公表し理解していただいて、参加者を増やしていきたいなと思っております。その出発点に今我々は立っているのかな、という気がいたします。



います。「朝夕に解決できるわけではないのですが、やっぱり時間はかけない。また交通事故もですが、いろいろな原因・背景があるはずなのに、今までは管理者が聞いてこなかったんです。

大聖 事故の原因を調査してみると、そういうことがあるんですよ。心配事があったり、気がふさぐようなことがあるとか、夫婦げんかをして出てきたりとか。そういったときに事故を起こしやすいんですね。ですから、安定した生活の中で仕事ができるということが大事ですね。

平成19年度 環境大臣賞を受賞して

司会 さて、去年環境大臣賞を受賞されたわけですが、社内外で何か変化はありましたか？

穂坂 環境大臣賞を受賞して誇りと自信を持ったこと。それとエコドライブをトラックだけではなく、マイカーでも実践するようになりました。つまり、会社で安

おわりに

司会 大聖先生から、エコドライブコンテスト選考委員長という立場でメッセージを言おうと思います。

大聖 エコドライブコンテストを始めてから5年目になりますが、毎年参加企業が増加しております。いよいよエコドライブ普及活動が、大きな広がりとなって参りました。ちなみに今年度から、いよいよ京都議定書の目標に沿った5年間のCO₂削減の取り組みがはじまるわけですが、参加する企業が今後とも順調に大幅に増えていくことを、多に期待しています。是非、地方自治体からも参加を積極的に呼びかけて頂いて、エコドライブ活動の広がりを一段と大きなものにして頂ければ、と心から思っております。

本日はどうもありがとうございました。

環境大臣賞受賞後の動向

九州菱化物流では、大臣賞受賞後に多くのメディアから取材があったとのこと。

【主な掲載メディア、発表日順】

- ・FM北九州(平成19年12月4日収録)
- ・輸送経済新聞(平成19年12月11日付け)
- ・毎日新聞(平成19年12月20日付け)
- ・北九州市市政便り(平成20年2月号)
- ・北九州市環境レポート20007
- ・NHKおほほ(フジテレビ)平成20年9月1日放映

また、穂坂部長には多方面から講演・セミナーの依頼が舞い込んでおり、自社の枠を超えてエコドライブ活動の普及に取り組まれている。

【主な講演・セミナー、五十音順】

- ・大分県主催エコドライブセミナー
- ・北九州市主催エコドライブディスカッション
- ・中国運輸局主催エコドライブセミナー

大聖泰弘 (だいしょうやすひろ)
早稲田大学 理工学術院 教授
エコドライブコンテスト選考委員長
1976年早稲田大学大学院理工学専攻博士課程修了、同大学講師、助教授を経て1985年より教授。企業や学内外の研究者とともにエコドライブ研究会を主宰するなど、エコドライブ普及を積極的に推進している。エコドライブコンテストでは初年度平成16年度より選考委員長を務めている。

穂坂昌男 (ほさかまさお)
1986年九州菱化物流(株)入社。
1988年陸運グループ配属。
1996年より省燃費活動としてエコドライブ活動を推進する。2005年のグリーン経営認証制度取得を経て、2007年エコドライブコンテストにて環境大臣賞を受賞に至る。

司会:エコドライブコンテスト事務局



自社のエコドライブ活動を 総点検してみよう!

Plan

1

社内体制

社内体制はエコドライブ活動の枠組みです。活動の責任者を明確にし、役割を適切に分担しましょう。また、活動に参加する組織の範囲も重要ですが、制限するよりも、可能な限り全社で取り組む活動として設定しましょう。

Do

2

燃費データ管理

燃費はエコドライブ活動における必須データです。可能な限り詳細に収集することをお勧めします(例:車種別・車種別・燃料別・車格別など)。また、収集方法や締め日など、運用ルールについても明示し、社員全員に周知される環境を作りましょう。

3

従業員教育

効率的なエコドライブの実施においては、正しい知識も重要です。事前に教育計画を立てて、効果的に実施しましょう。外部の専門機関を上手に活用することもポイントです。近年、参加型・体験型の教育を取り入れる企業も増えてきています。

Check

4

エコドライブ活動の成果

社内体制・燃費データ・従業員教育がしっかりと推進出来ていれば、必ず成果(燃費向上・事故低減など)が現れます。もし、あまり成果が出ていない場合は、活動内容の見直しが必要と思われます。なお成果算出方法も含め、自社の活動に関する情報は、全社的に共有しましょう。

Act

5

評価の実施

エコドライブ活動の推進には、従業員一人ひとりの協力が不可欠です。積極的に取り組んでいる方を評価する仕組みを構築しましょう。また、活動を通じて得られた成果を踏まえて、活動そのものの評価や見直しも実施したいものです。

6

活動の継続性

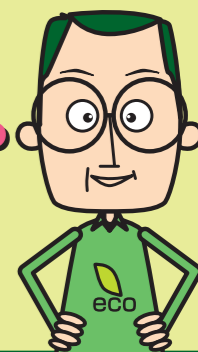
折角の取り組みも、止めてしまえば意味がありません。エコドライブ活動を継続的に推進するための仕組みやルールについて、全員で考えてみましょう。それぞれの職責に応じて、出来ることもあるかもしれません。小さなことの積み重ねが重要です。

6項目それぞれについて、現状をしっかりと把握しましょう!

管理者層への配布資料として、ご活用ください

エコドライブ活動の

効果とポイント



エコ/ババ

燃費向上

●1社あたりの燃費向上率

7.7%

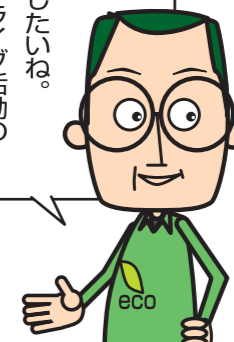
●1台あたりのCO₂削減量

988 kg-CO₂

まず、審査応募企業それぞれのデータでは、平均で...



そうだね。是非、参考にしたいね。まずは、エコドライブ活動の効果について確認してみよう!



コンテストで表彰される企業はやっぱり凄いね!



交通事故低減

31.5%
低減!!!

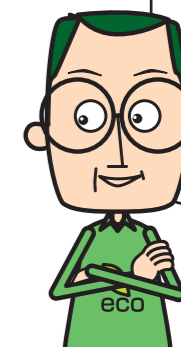
エコドライブ活動前に交通事故が発生していた会社では...



なるほど。これなら企業としても取り組みがいがあつたね。さあ、何から始めようかな?



これはあくまで平均データだから、これ以上に効果が出ている企業もたくさんあるんだよ。



では、活動のポイントについて見てみよう!

エコドライブ活動のポイントは6つ

- ① 社内体制
- ② 燃費データ管理
- ③ 従業員教育
- ④ エコドライブ活動の成果
- ⑤ 評価の実施
- ⑥ 活動の継続性



これらをバランス良く、効率良く推進することが重要なんだよ! もし自社の活動が「効果的でない」と感じたら、6つのポイントの中に問題点があると思うよ!

詳細は左ページの資料を参考にしつてね。さあ、エコドライブ活動にレッツトライ!



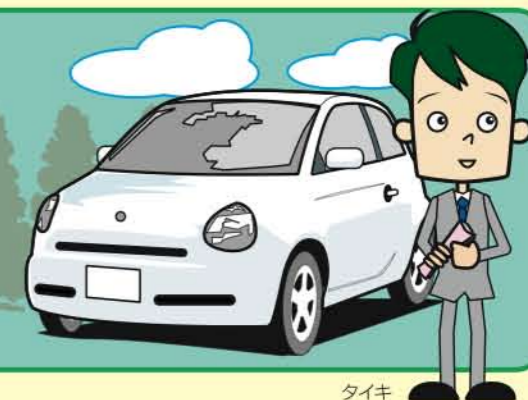
Let's Try!

効果的なエコドライブのポイントを確認!

エコドライブの

ススメ

ドライバー編



タイキ

5 停車時

■無用なアイドリングはストップ!



わざわざ時間でも、出来るだけエンジンを切っておこう。

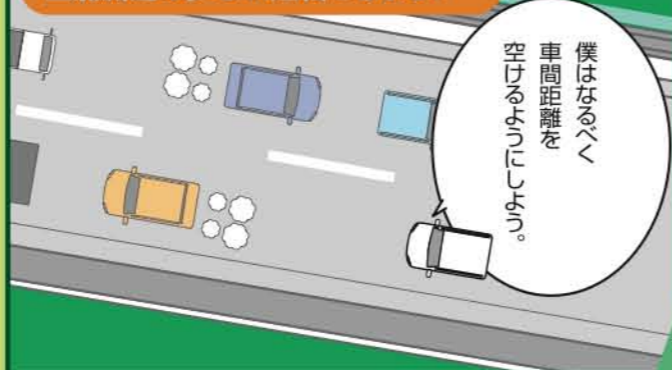
■駐車場所に注意しよう!



路上駐車は渋滞の原因にもなるから、決められた場所に駐車しないよね。

3 運転時

■加減速の少ない運転をしよう!



僕はなるべく車間距離を空けるようにしよう。

■エアコン使用は控えめに!



今日はあまり暑くないから、エアコンは切ってお窓をあけよう。

2 出発時

■暖機運転は適切に!



おっと、前にシートベルトだ!

特別な状況を除き、暖機運転はあまり必要ないので、エンジンをかけたらすぐ出発だね。

■ふんわりアクセル「eスタート」で発進!



スタート時はふんわり、じんわりアクセルを踏もう!

1 出発前

■道路交通情報を活用しよう!



工事情報を事前にチェック! 渋滞を避けることもエコだよ。

■不要な荷物は降ろそう!



今日は使わないので、降ろして会社に置いておこう。

4 減速時

■早めにアクセルオフ!!!



あっ! 信が赤に変わりそう! 早めにアクセルから足を離そう。エンジンブレーキもポイントだね。

加減速の少ない運転のポイントは、車間距離を空けることだよ。安全のためにも実践したいね。

ふんわりアクセル「eスタート」を実践すると、11%程度も燃費が改善するといわれているよ。

■タイヤの空気圧をチェック!



タイヤの空気圧は燃費に大きく影響するから、定期的にチェックしよう。

エコドライブは、ハンドルを握る方々の高い意識に支えられています。地球環境のため、交通安全のため、是非エコドライブを実践していきましょう!



参考: エコドライブ普及連絡会「エコドライブ10のすすめ」より